

議会だよりその



吉田神社の奉迎(鹿島神社)

題字制作

東西公民館書道講座

佐藤 幸恵さん

2月定例会

令和8年6月号

No.163

発行: 裾野市議会

主な内容

- ・ 令和8年度予算の審査内容
- ・ 一般質問で市政を問う
- ・ 意見交換会実施報告

令和8年度当初予算と施政

一般会計予算 245億5,100万円(前年比103.6%)

議会費 総務費 民生費 衛

	総務費	民生費	衛生費
R7	24億6,668万円	70億4,971万円	31億256万円
			農水費 12.2% ▲6,119万
R8	25億322万円	71億696万円	29億5,018万円

財政運営と予算編成

問 財政指標が厳しい中、将来の財政余力はどのように担保するか。

答 「財政調整基金残高10億円以上」「実質公債費比率13%以下」という財政指標は下限値に近い見通したが、これを厳守する。一律に新規事業をゼロにするのではなく、既存事業や経常経費のスクラップ・アンド・ビルドを徹底し、財政健全化と将来投資の両立を図っている。

問 厳しい財政下で、令和8年度の新規事業を予算化できた判断基準は。

答 「政策的な合致」「事業手法の妥当性」「費用の妥当性」の3点を丁寧に精査した。

問 限られた予算枠の中で、職員のモチベーションは維持できるのか。

答 予算規模は小さくとも、リノベーション推進事業など職員が企画立案した思いを極力汲み取る査定を行った。「小さく始めて継続的に改善する」という綱領のもと、市役所一丸となって創意工夫を引き出す狙いがある。

教育環境と学校再編

問 学校再編が児童生徒や地域コミュニティに与える影響への対策は。

答 児童の心理的ケアのため、再編前の2年間、学校間交流事業を実施している。地域への影響は、コミュニティ・スクールを核とし、学校施設を活用したスポーツや文化活動を通じて新たなコミュニティ強

化を伴走支援する。

問 生涯学習課と図書館を統合し、「教育監」を配置する目的は

答 学校教育と社会教育の垣根をなくし、学びの質を向上させるため。部活動の地域展開や、児童生徒が地域の活動に企画段階から参加する環境づくりで、教育監が両部門の調整役を担い、生涯学習への切れ目ない接続を図る。

都市整備と大型プロジェクト

問 裾野駅周辺の活性化や、市内の道路渋滞解消に向けた具体策は。

答 駅西側の区画整理事業を起点とし、課題の多い駅東側も含めた空き家などを活用した「リノベーション事業」を展開してエリア全体の価値を高める。積年の課題である主要幹線の渋滞は、市道2274号線(葛山地先)の橋梁工事や都市計画道路(平松深良線)の用地買収を進め、混雑緩和を図る。

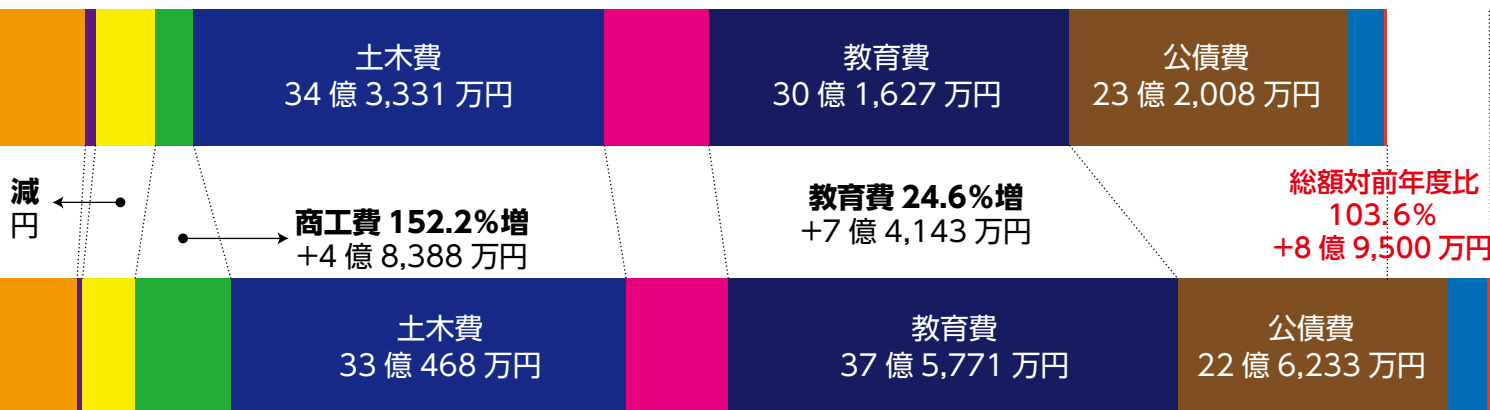


リノベーションまちづくりセミナー(県主催)



方針に対する質疑

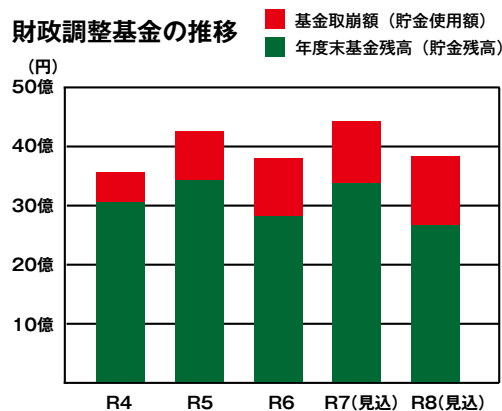
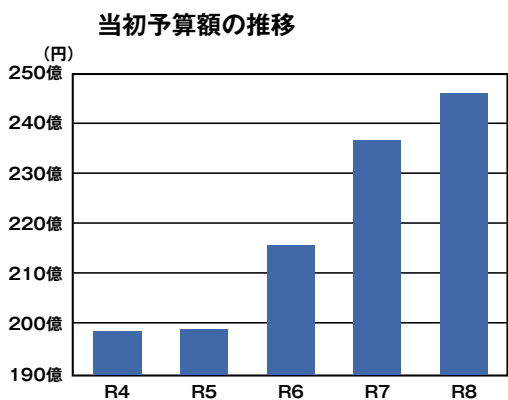
生費 労働費 農林水産業費 商工費 土木費 消防費 教育費 公債費 諸支出金 予備費



(R:令和)

令和4～令和8年度の
一般会計当初予算と
財政調整基金の推移

	R4年度(万円)	R5年度(万円)	R6年度(万円)	R7年度(万円)	R8年度(万円)
一般会計当初予算	1,976,000.0	1,982,300.0	2,156,200.0	2,369,200.0	2,455,100.0
財政調整基金取崩額	-50,496.9	-81,965.1	-97,869.7	103,161.6	-112,787.3
財政調整基金残高	306,196.5	343,139.1	286,385.2	(見込)342,230.6	(見込)281,702.8



問 総事業費約35億円を見込む「道の駅」の採算性や効果は。

答 国の補助金を最大限活用しつつ、施設の維持管理費はテナント料などでまかなう民間活力を用いた収益モデルを検討中である。地元事業者との競争を避けるため、道の駅を「裾野ブランド」の発信拠点と位置づけ、市外からの来訪者を市内各所へ誘導する相乗効果を狙う。

医療・福祉と生活インフラ

問 地域医療の中核「裾野赤十字病院」に対する市の支援スタンスは。

答 施設の老朽化や医師確保など経営環境は厳しく、

単年度の補助金だけでなく中長期的な視点での支援が必要。市は病院や民間医療機関などと協議を継続し、持続可能な地域医療体制の維持に向けた多様な財源確保と支援策を検討していく。

問 日常生活環境の向上や、子育て支援の新たな動きは。

答 資源化率向上と焼却量の削減のため、剪定した枝のリサイクル事業を開始すると共に最終処分場への持ち込みを無料とする。また「せせらぎ児童公園」では、隣接する子育て支援施設「すこっぷ」と連携し、インクルーシブ遊具の導入など多世代が交流できる空間へのリニューアルに向けて基本設計を進める。

総務分科会

財政調整基金依存の是非 (財政課)

問 財政調整基金を繰り入れる予算編成は、このまま常態化して良いのか。

答 過去の市債の償還が高止まりしている最中で厳しい状況だが、財政調整基金の取り崩し額を減らしていく考えである。

事業見直し(スクラップ)の実効性 (財政課)

問 スクラップ・アンド・ビルドの観点では、スクラップする事業が少ないのではないか。

答 行財政運営基本方針に基づき、経常経費に至るまで予算審査を行っており、市民サービスを継続しつつ、削減できる経費は各課と調整を図っている。

市民税の増減要因の分析 (税務課)

問 個人市民税の増額と法人市民税の減額理由は。

答 個人市民税は、賃金上昇や税制改正の影響によるもので、法人市民税は、国際通商環境(関税や物価高)の影響によるもの。

スプリングラー事故訴訟費積算根拠 (総務課)

問 新たに計上した市民文化センタースプリングラー事故に係る訴訟事務委託料の積算根拠は。

答 代理人弁護士報酬規程に基づき、基礎報酬738万円と、訴訟によって得た経済的利益の4%加えた合計額の50%に、消費税を加算した額を成功報酬として算出した。

市外向け情報発信の強化策 (秘書広報課)

問 市内へ向けた情報発信や広報活動が進んでいるが、市外へ向けた市の魅力発信強化策は。

答 シティプロモーション業務が秘書広報課に移管さ

れ従来の広報広聴業務との相乗により市外へ向けた戦略的な魅力発信が展開できる体制を構築していく。

支所を活用した地域コミュニティ活性化 (深良支所、富岡支所、須山支所)

問 各支所の、コミュニティ活性化に資する具体的な取り組みは。

答 深良支所では、小学生が居場所として活用できる取り組みをしている。富岡支所では、中学生や小学生の通学支援を含めた居場所づくりとして開放している。須山支所では、図書室を活用している。

子ども体験割の目的と効果 (自治振興課)

問 区運営費交付金の「子ども体験割」の設立目的は。

答 子ども会などの活動がなくなっていく傾向にあり、子どもに関わる事業を各区で実施してほしいと考えている。

郵便局でのマイナンバーカード 交付体制 (市民課)

問 郵便局での新規交付を実施するために、導入が必要な機器は。

答 専用パソコンとカードプリンター、顔認証機器を設置し本庁舎とオンラインで本人確認が行える仕組みを構築する。

浄化槽設置補助拡充の狙い (生活環境課)

問 浄化槽設置整備事業補助金で新たに宅内配管工事や撤去工事を補助対象にした理由は。

答 単独処理槽から合併処理槽へ転換が進まないため、補助金拡充によって費用負担を軽減することで、転換基数を増やしたい。

細かくチェック!



窓口モニター増設の必要性 (業務改革課)

問 1階窓口へのモニターを増設する理由は。

答 利用者アンケートで「呼び出しモニターへの情報表示が少ない」との指摘もあり、迷わない誘導を最優先に対応する。

粗大ごみ有料化の収入見込み (美化センター)

問 粗大ごみの有料化で予算計上した手数料収入の算出根拠は。

答 現状の実績値から推計し、基本額で一世帯30件、高齢者世帯など減額となる世帯50件で見込んだ。

感震ブレーカーの補助基準 (危機管理課)

問 住宅防災力向上支援事業で感震ブレーカー設置費補助金が新規で計上されたが、補助金額はどのくらいか。

答 近隣市町の事例から設置費用総額は6万円前後と見込まれ、対象経費の3分の2(上限3万円)を補助する。



感震ブレーカー(出典:総務省消防庁)

厚生文教分科会

学校再編に伴うスクールバス (教育総務課)

問 富岡第一・第二小学校の統合に伴うスクールバスで、既存の路線バスやデマンドタクシーとの連携は検討しなかったのか。

答 路線バスの活用も検討したが、登下校の時間帯に合わせた運行や、児童全員が確実に乗車できる環境を担保することが難しかった。保護者からの要望も強く、まずは行政の責任として専用スクールバスを運行する。

旧向田小学校改修の考え方 (教育総務課)

問 旧向田小学校を東中学校へ転用する改修工事で、避難所としての機能強化や施設の長寿命化はどのように考慮されているか。

答 特別教室や体育館へのエアコン設置、多目的トイレの増設を行う。また、体育館は断熱効果を高めるための屋根改修を行う。



旧向田小学校

新学校給食センター整備 (教育総務課)

問 新給食センターの整備にPFI(BTO方式)^{*}を導入する理由は。

答 PFIを導入することで、設計から運営までの財政負担を平準化できる。またVFM(経済的価値)の算定でもBTO方式が最も有利であった。

給食費の無償化・負担軽減 (教育総務課)

問 給食費の負担軽減施策で財源の考え方は。

答 国・県の負担軽減交付金に加え、地方創生臨時交付金を活用して物価高騰分(約13%)を市が上乗せして補填する。

(※) PFI(BTO方式) …民間事業者が施設を建設し、施設完成直後に公共に所有権を移転し、民間事業者が維持管理及び運営を行う方式

細かくチェック!



文化センター大ホール工事 (生涯学習課)

- 問** 大ホールの工事内容とスケジュールは。
- 答** 特定天井脱落防止工事、スプリンクラーや放送設備の改修、舞台設備や備品の更新をし、9月を目途にリニューアルをする予定。4月から利用予約の受付を開始する。

部活動の地域展開と費用負担 (学校教育課)

- 問** 令和8年度の部活動地域展開の進捗状況と、地域の指導者確保、および保護者の費用負担の見込みは。
- 答** 全体の半数程度の部活動を地域展開する見込み。受け皿としてNPO法人に委託し、既存の部活動指導員や外部指導者にも地域指導者として協力を依頼していく。受益者負担は月額1,000円~3,000円程度を想定しているが、就学援助世帯への配慮や施設使用料の減免措置なども検討していく。



モデルケースの部活(卓球)

補聴器購入助成 (介護保険課)

- 問** 新規事業である補聴器購入費助成(初年度120件想定)の目的と事業内容は。
- 答** 加齢性難聴による引きこもりを防ぎ、社会参加を促すことで認知症予防を図るのが最大の目的で、介護保険料の滞納がない方で聴力の条件を満たした場合、補聴器購入費の補助率2分の1で最大3万円までを補助する。

子ども医療費の完全無償化の 継続 (子育て支援課)

- 問** 完全無償化を継続するための財源見通しの考え方は。
- 答** 財源の一部として防衛省からの交付金を活用しているが、令和8年度で終了見込みである。交付金終了後も制度を縮小するのではなく、今後の市の財政状況や医療費の推移をしっかりと見極めながら、制度の継続を図っていく。

産業建設水道分科会

大規模盛土造成地変更予測調査の今後 (都市計画課)

- 問** 令和8年度に、大規模盛土造成地の調査を踏まえてどのように進めるのか。
- 答** 令和7年度第二次スクリーニング計画が終了したため、中間報告の内容を踏まえ、令和8年度は経過を観察していく。

ヘルシーパーク初期投資清算の 見通し (産業観光スポーツ課)

- 問** 前指定管理者との初期投資清算に係る弁護士案件は、令和8年度中に解決の見通しがあるか。
- 答** 確実に終わるかどうかは判断しがたいが、解決に向けて進めていく。

駅周辺整備のソフト事業スタート (駅周辺整備課)

- 問** リノベーションによるまちづくり事業はどのように進めていくのか。
- 答** 令和8年度はリノベーションスクールを開講し、民間主導の取組を後押ししていく。

細かくチェック！



Jクレジット収益の還元 (農林振興課)

答 J-クレジット創出事業で得た収益は地域にどのように還元されるのか。

問 深良財産区との協議では、収益を直接支払うのではなく森林整備などの事業を通じて地元へ還元していく方向で調整している。



Jクレジット位置図

都市計画道路の進捗 (建設課)

問 令和11年度完了に向けた平松深良線稲荷工区の進捗はどうか。

答 令和8年度末時点で用地買収は全体の3割程度完了を見込んでいるが、国庫補助の採択状況によって計画より遅れる可能性もある。

企業版ふるさと納税地方創生特別会計予算 (駅周辺整備課)

問 岩波駅周辺整備の短期整備計画の完了予定年度と残っている事業費の見込みは。

答 短期整備計画は令和13年度までであり、令和8年度末時点での残事業費は約22億8,000万円である。

御師公園伐採木の処理 (みどりと公園課)

問 御師公園整備事業での立木伐採後の木材の処理方法はどのように予定しているか。

答 基本的には処分となるが、活用できるものがあれば検討していきたい。



御師公園のイメージ図

水道事業会計予算 (水道部)

問 水道料金の契約戸数の増減の根拠は。

答 新設分は過去の実績から約180件の増加を見込み、既存分は決算見込み値を採用して算定している。

下水道事業会計予算 (水道部)

問 経費回収率の向上に向けて令和8年度中に取り組むことはあるか。

答 下水道使用料の改定案が審議会から答申で示されており、令和8年6月定例会に条例改正案を上程する予定である。料金改定は、令和9年4月を目指している。

簡易水道事業会計予算 (水道部)

問 第5水源取水ポンプ取り替え工事の実施に至った経緯は。

答 平成12年にポンプを更新してから相当年数が経過しており、老朽化が進んでいるため、予防保全として取水ポンプの更新を実施する。



2月定例会の審議議案と結果 全会一致の議案

議案番号	議案内	結果
承認第1号	専決処分) 令和7年度一般会計補正予算(第7回) 衆議院の解散により衆議院議員総選挙及び最高裁判所国民審査が令和8年1月27日公示、2月8日執行になり、これに係る選挙費を早急に予算措置する必要があるため、令和8年1月23日に専決処分を行った。	承認
第3号議案	令和8年度国民健康保険特別会計予算 総額は、歳入歳出それぞれ46億6,500万円と定める。前年度当初予算と比べ500万円、0.1%の増。	原案可決
第4号議案	令和8年度後期高齢者医療事業特別会計予算 総額は、歳入歳出それぞれ9億2,800万円と定める。前年度当初予算と比べ1億300万円、12.5%の増。	
第5号議案	令和8年度介護保険特別会計予算 総額は、歳入歳出それぞれ45億9,100万円と定める。前年度当初予算と比べ4億100万円、9.6%の増。	
第6号議案	令和8年度墓地事業特別会計予算 総額は、歳入歳出それぞれ1,321万1千円と定める。前年度当初予算と比べ192万9千円、12.7%の減。	
第7号議案	令和8年度企業版ふるさと納税地方創生特別会計予算 総額は、歳入歳出それぞれ11億9,583万9千円と定める。前年度当初予算と比べ1億2,571万4千円、9.5%の減。	
第8号議案	令和8年度水道事業会計予算 総額は、収入支出それぞれ13億900万円と定める。前年度当初予算と比べ9,400万円、7.7%の増。	
第9号議案	令和8年度下水道事業会計予算 総額は、収入支出それぞれ13億8,192万8千円と定める。前年度当初予算と比べ1億3,115万6千円、10.5%の増。	
第10号議案	令和8年度簡易水道事業会計予算 総額は、収入支出それぞれ9,649万円と定める。前年度当初予算と比べ2,846万4千円、41.8%の増。	
第11号議案	市の特定の事務を取り扱う郵便局の指定 マイナンバーカードの電子証明書の更新などに係る事務を取り扱う郵便局として、市内郵便局を指定する。市民の利便性向上、分散化により本庁舎の混雑を緩和し来庁者の待ち時間の軽減を図る。	
第12号議案	条例制定) 特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例を制定 子ども・子育て支援法の一部改正に伴い、特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定めるため、本条例を制定する。国の基準に準じて条例案を作成し、暴力団排除条例に関する規定を付加する。	
第13号議案	条例改正) 行政手続条例の一部改正 行政手続法の一部改正に伴い、聴聞などの通知に係る公示送達をデジタル化(インターネットの利用を想定)するため改正する。	
第14号議案	条例改正) 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正 予防接種事務のデジタル化に伴い、本市のマイナンバーの独自利用事務の削除及び追加を行うため改正する。	
第15号議案	条例改正) 部設置条例等の一部改正 社会情勢の変化に的確に対応できる戦略的かつ効率的な組織とするため改正する。「デジタル部」を廃止し、その所管事務を総務部に統合。「産業振興部」を「地域経済部」に改称するなど。	
第16号議案	条例改正) 選挙公報発行条例の一部改正 市議会議員及び市長の選挙における選挙公報の原稿を電磁的記録により提出できるように改正する。	
第17号議案	条例改正) 一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正 人事院勧告に基づき、任期付職員の給与を改定する。	
第18号議案	条例改正) 市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正 人事院勧告を勘案し、市議会議員の期末手当を改定する。	
第19号議案	条例改正) 特別職の職員の給与に関する条例の一部改正 人事院勧告を勘案し、特別職職員の期末手当を改定する。	
第20号議案	条例改正) 市長の期末手当の特例に関する条例の一部改正 人事院勧告を踏まえ、特例で定めている市長の期末手当を改定する。	
第21号議案	条例改正) 市職員の給与に関する条例の一部改正 人事院勧告に基づき、職員の給与を改定する。	
第22号議案	条例改正) 国民健康保険税条例の一部改正 子ども・子育て支援金を拠出すること及び国民健康保険特別会計の収支安定のため改正する。	
第23号議案	条例改正) 手数料条例の一部改正 建築確認申請などにかかる手数料を受益者負担の適正化を図るため、静岡県手数料徴収条例を参考に改正する。	
第24号議案	条例改正) 市立学校等設置条例の一部改正 学校教育施設再編基本計画に基づき、富岡第二小学校と富岡第一小学校を統合し、富岡第二小学校を閉校するため改正する。	
第25号議案	条例改正) 保育所条例の一部改正 市立西保育園で乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)を実施するにあたり、利用料を条例に規定するため改正する。こども1人1時間につき300円とする。	
第26号議案	条例改正) 市立幼保連携型認定こども園条例の一部改正 市立ふからこども園で乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)を実施するにあたり、利用料を条例に規定するため改正する。こども1人1時間につき300円とする。	

第27号議案	条例改正) 乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 基準となる内閣府令の一部改正に伴い改正する。
第28号議案	条例改正) 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正 災害弔慰金及び災害障害見舞金の支給に際し調査審議する機関を置くため改正する。
第30号議案	条例改正) 簡易水道事業給水条例等の一部改正 災害などの場合に給水装置工事及び排水設備など工事が円滑に実施されるように、他の市町村長または他の市町村長の指定を受けた工事店でも工事を行うことを可能とするため。
第31号議案	静岡県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更 南伊豆地域清掃施設組合が本組合から脱退することに伴い、規約を変更する。
第32号議案	建設工事請負契約の締結(美化センターごみ焼却設備長寿命化工事) 令和7・8年度、市単事業により施工する。契約金額2億3,980万円で、三菱重工環境・化学エンジニアリング株式会社 国内事業部と請負契約を締結する。
第33号議案	建設工事請負変更契約の締結(令和6年度都市構造再編集集中支援事業(線越明許)市道1264号線橋梁上部工新設工事(曲線橋)) 令和7年6月議会に議決した工事の設計変更に伴い変更契約を締結する。
第34号議案	令和7年度一般会計補正予算(第8回) 既定の歳入歳出予算総額に歳入歳出それぞれ1億1,900万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ247億8,950万円とする。内容は、歳入では、金利の上昇要因により利子割交付金を950万円、事業の前倒しにより市債を4,350万円増する。歳出では、ふるさと納税の堅調な推移により商工費を増額、土木費の増額、人事院勧告に基づく人件費の増額、予算執行実績見込みによる減額など。
第35号議案	令和7年度国民健康保険特別会計補正予算(第4回) 既定の予算総額に364万円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ46億8,464万7千円とする。内容は、人事院勧告に基づく人件費の増額、及び実績見込みによる減額。
第36号議案	令和7年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2回) 既定の予算総額に3,799万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ8億6,610万2千円とする。内容は、実績見込みによる増額。
第37号議案	令和7年度介護保険特別会計補正予算(第3回) 既定の予算総額に9,898万円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ44億6,871万1,000円とするものであります。補正の内容は、実績見込みによる増額。
第38号議案	令和7年度企業版ふるさと納税地方創生特別会計補正予算(第4回) 規定の予算総額に194万5千円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ13億9,722万8千円とする。
第39号議案	令和7年度水道事業会計補正予算(第3回) 収益的支出の既決予定額に168万9千円を追加し、7億2,834万円とし、資本的支出の既決予定額から9,083万3千円を減額し、3億9,854万7千円とする。職員給与費に167万2千円追加し、7,241万2千円とする。内容は、事業費の確定見込みによる減額のほか、人事院勧告に基づく人件費の増額。
第40号議案	令和7年度下水道事業会計補正予算(第3回) 収益的収入の既決予定額に190万円を追加し、7億4,856万2千円とし、収益的支出の既決予定額に190万円を追加し、7億4,546万7千円とする。資本的収入の既決予定額から150万9千円を減額し、3億4,204万4千円とし、資本的支出の既決予定額に39万1千円を追加し、5億5,794万1千円とする。職員給与費に229万1千円を追加し、5,876万4千円とする。内容は、人事院勧告に基づく人件費の増額。
第41号議案	副市長の選任 令和8年3月31日付けで副市長の堀越崇志氏が退任することに伴い、令和8年4月1日付けで赤堀健之(あかほり たけし)氏を新たに副市長に選任したいので、議会の同意を求める。
第42号議案	固定資産評価員の選任 令和8年3月31日付けで副市長の堀越崇志氏が固定資産評価員を退任することに伴い、令和8年4月1日付けで赤堀健之(あかほり たけし)氏を新たに選任したいので、議会の同意を求める。
第43号議案	監査委員の選任 代表監査委員の任期満了に伴い、令和8年6月10日付けで渡邊隆司(わたなべ たかし)氏を新たに選任したいので、議会の同意を求める。
第44号議案	条例改正) 学習、集会等共用施設の設置及び管理に関する条例の一部改正 石脇区集会所を令和8年3月28日から共用開始するため改正する。
第45号議案	条例改正) 介護保険条例の一部改正 介護保険法施行令の一部改正に伴い、本市の保険料において必要な措置を講ずるために改正する。
第46号議案	条例改正) 消防団員等公務災害補償条例の一部改正 非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部改正に伴い、損害補償額の算定の基礎となる補償基礎額等を改定するため改正する。
第47号議案	建設工事請負契約の締結(市道1264号線橋梁上部工新設工事(富士見橋北橋)) 令和7から9年度 都市構造再編集集中支援事業により施工する。契約金額3億140万円で、高田機工株式会社 静岡営業所と請負契約を締結する。
議員提出議案 第2号	県立裾野高校の再編・統合に対し、県へ毅然とした抗議を行うことを求める決議 市はランドデザインに関する住民説明会の早期開催を県教育委員会に求めること、県立高校が無くなることに市の反対意見を県に提出すること。
議員提出議案 第3号	条例改正) 議会委員会条例の一部改正 行政組織の改編による部の統合、再編などに伴い改正する。

原案可決

議員提出議案 第4号	令和8年度閉会中の各常任委員会及び議会運営委員会の所管事務調査事件 総務委員会、厚生文教委員会、産業建設水道委員会、予算決算委員会、広報広聴委員会及び議会運営委員会は閉会中も所管事務の調査を実施する。	原案可決
意見書案 第1号	県立裾野高校再編に抗議し、地元住民への説明を求める意見書（案） 説明会の開催、再編が当市に及ぼす影響を資料で示すこと、関係者との意見交換や協議の場の設置など。	
意見書案 第2号	東富士演習場の運用における住民負担の軽減に関する意見書（案） 防音工事の対象の拡大、訓練状況で変化する騒音などの状況把握と公表、オスプレイの運用ルールの厳守など。	

※賛成は○、反対は●、数字は議席番号を表しています。 ※議長（井出 悟）は同数以外、採決には加わりません。

議席番号 議員名	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	結果
議案内容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	-	⑮	⑯	⑰	⑱	
第29号議案	条例改正）廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正 家庭系一般廃棄物の美化センターなどへの持ち込みの有料化、同粗大ごみの有料戸別収集実施など、ごみの減量と資源化を推進し、適正なごみ処理の維持を図るため改正する。令和8年10月1日新料金での処理手数料を徴収する。																		原案可決 賛成：16 反対：1
第2号議案	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	-	⑮	⑯	⑰	⑱	
	修正案）第1号議案修正動議 予算の総額245億5,100万円を246億2,200万円に改め、運動公園陸上競技場改修工事の曲走路4レーン整備を8レーン整備に変更し、更に、投てき囲いを更新する。																		修正案否決 賛成：2 反対：15
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	-	⑮	⑯	⑰	⑱	
	原案）令和8年度一般会計予算 総額は245億5,100万円。前年度当初予算と比べ8億5,900万円3.6%の増。市債は、事業債の増により、前年度と比べ3,050万円1.7%増の18億4,890万円の発行を見込む。歳出は、人件費の増、生活保護費、自立支援給付費など扶助費の増、放課後児童健全育成事業、予防事業費など物件費の増など、物価高に伴う経費の増加。																		原案可決 賛成：14 反対：3

討論

第29号議案 廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

討論・採決の様子は
こちらからご覧いただけます。



■ 裾野市・富士宮市・富士市・静岡市・長泉町では家庭ごみの直接搬入は無料で、有料化しても必ず減量につながるとは限らない。地域からは年2回の粗大ごみステーション収集を残して欲しいとの声もあり、無料個別収集との併用を検討すべきと考える。 【岡本 和枝】

反対です **賛成です**

■ ごみ処理有料化は住民説明や意見反映を経て実施時期や手数料を見直し、県内標準の受益者負担として妥当。粗大ごみの個別収集も、一般的に多くの自治体が採用しており、実態に即し適切である。市民の減量意識を高める効果も期待できることから、有料の個別収集は妥当である。 【土屋 主久】

第2号議案 令和8年度一般会計予算

討論・採決の様子は
こちらからご覧いただけます。



原案・修正案反対

■ 美化センターへの家庭ゴミの直接搬入や、粗大ゴミの個別収集の有料化は、不法投棄や住民の負担の増大が心配される。地球温暖化防止や資源の有効活用、最終処分場の延命化、ごみ処理費用の削減を可能にするには、有料化や不法投棄対策よりも、これらの取り組みにこそ人員と予算が必要である。 【岡本 和枝】

原案反対・修正案賛成

■ 現在8レーンある曲走路を4レーンに減らすと、大会規模の縮小や種目制限が避けられず、利用者には大きな不利益が生じる。今回の設計に8レーン化も前提としており、今から設計を見直せば年度内に工事を終えることも可能。地域のスポーツ環境を後退させないために曲走路8レーンを維持すべきだ。 【勝又 豊】

原案賛成・修正案反対

■ 令和8年度の教育予算は学校再編や文化センター改修など大きな費用を必要とする事業が多い。陸上競技場トラック改修は、4レーン化を行い、その後8レーン化へと進める2段階方式で取組む。最小限の投資と歳入確保策とを連動させることで、持続可能な行財政運営につながると評価した。 【内藤 法子】

■ 令和8年度一般会計予算は行財政運営方針に基づき、中長期的な財政の健全性を担保した予算編成となっている。体育施設整備は、この方針に基づいた予算計上である。また家庭ゴミの持ち込み有料化と粗大ゴミの有料化の予算は、市民からの意見を真摯に受け止め、その内容を反映している。 【三富 美代子】



※賛成は○、反対は●、数字は議席番号を表しています。 ※議長（井出 悟）は回数以外、採決には加わりません。

議席番号 議員名	① 則武優貴	② 小林浩文	③ 大橋勝彦	④ 土屋主久	⑤ 勝又豊	⑥ 浅田基行	⑦ 木村典由	⑧ 増田祐二	⑨ 杉山茂規	⑩ 中村純也	⑪ 佐野利安	⑫ 二ノ宮善明	⑬ 三富美代子	⑭ 賀茂博美	⑮ 岡本和枝	⑯ 小林俊	⑰ 内藤法子	⑱ 勝又利裕	⑲ 井出悟	結 果
第1号議案	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	欠	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	-	修正案可決 賛成：9 反対：8
	<p>修正案) 令和7年度一般会計補正予算(第6回) 修正動議 4億6,400万円を4億4,850万円に総額246億6300万円を246億4,750万円に改める。また、1世帯あたり1万円としていた交付対象を「世帯」ではなく「1人当たり」に変更し、19歳以上の市民に1人当たり5,000円を給付する。</p> <p>原案) 令和7年度一般会計補正予算(第6回) 既定の予算総額に4億6,400万円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ246億6,300万円とする。国の物価高対応子育て応援手当として、子ども1人あたり2万円を全国一律で給付する。さらに、市独自の支援として物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、全市民を対象に1世帯あたり1万円、子ども1人あたり1万円を給付する。</p>																			修正部分を除く 原案 全会一致で可決

討論

原案反対・修正案賛成

▲ 平均世帯人員2.2人という一律の対応では、多人数世帯の支援が手薄になる。世帯ではなく「そこに暮らす人」に光を当てた修正案こそ公平である。多少の手間暇がかかっても一人ひとりに支援を届けるべきであり、1,550万円の予算節減が見込まれ、来年度の給食費支援の備えにもなる。 【増田祐二】

原案賛成・修正案反対

▲ 消費税減税こそ最も合理的な物価対策であり、公平・平等な対策は何か議論が必要。修正案では、単身世帯の支援が1万円から5千円に減額されてしまう。 【岡本和枝】

▲ 迅速かつ効率的・効果的な対応が求められる中、個人給付では世帯人数の確認など追加の調査が必要となり、速やかな給付ができない。 【勝又 豊】

議員提出議案
第1号

物価高騰対策の効果的な事業実施を求める決議 令和7年度一般会計補正予算(第6回)の成立を受け、国庫補助金などを最大限活用し、令和8年度当初予算に物価高騰対策の効果をも高める事業を実施すること。

全会一致で
可決

10人が一般質問で市政を問う



きむら のりゆき
木村 典由

1. 市民イベントボランティアバンク制度の創設を求める

問 市内の多くのイベントで担い手の固定化が進む一方、「ボランティアをしたいが、どこへ問い合わせればよいか分からない」という市民の声がある。関わりたい人と人手を必要とする団体が十分に繋がっていない現状があり、このミスマッチを認識しているか。また、市が入口を一本化する

「市民イベントボランティアバンク制度」を導入すべきではないか。

答 担い手の固定化は課題であると認識している。現行の取組みだけでは解消しきれておらず、各団体に委ねるだけでは新たな担い手の発掘に限界が生じている。イベントボランティアをボランティア登録制度に包含し、幅広いボランティア活動を対象とした制度として、導入に向け検討したい。

ボランティアバンクのイメージ



ないとう のりこ
内藤 法子

1. 裾野赤十字病院の老朽化対策について

問 裾野市における医療体制のあり方検討会提言書で、施設の建て替え及び整備の更新を図るとあるが、どのように手を付けていくか。

答 病院側から改修内容や財源は示されていないが、建て替えなどには多額の費用が必要と認識している。現時

点の財政見通しでは病院の改修・長寿命化などへの補助金に係る予算計上はしていない。継続的に病院側と協議を進める。

2. 小中学校の給食費・エアコン設置について

問 小中学校の給食費の無償化と体育館のエアコン設置の実現時期は。

答 小学校は令和8年度から国・県の交付金の活用により給食費無償化の予定。中学校は国の動向を注視しながら検討を進める。体育館のエアコン設置は、まずは令和10年度開校予定の新東中学校に設置予定。その他の学校には裾野市立小中学校エアコン整備基本方針に基づき段階的な整備を検討していく。

10人が一般質問で市政を問う



おおし かつひこ
大橋 勝彦

1. プッシュ型の災害情報案内の検討について

問 火災発生時に、電話がつながりにくく、必要な情報が市民に届きにくいという課題への対応は。

答 市では、防災行政無線やホームページ、メール配信、LINEなど、複数の手段により情報発信を行っている。火災広報は消防事務を担う富士山南東消防組合が実施すべき

事項であり、現在、火災情報の発信に向けた協議調整を進めている。

2. 高齢者が安心して住み続ける仕組み

問 ひとり暮らし高齢者が安心して住み続けるための取組は。

答 空き家になる前の予防的な対応が最も重要であることから、既存制度の周知を図りつつ、早期の情報把握や関係機関との連携などに努めていきたい。



安心な住まいイメージ



のりたけ ゆうき
則武 優貴

1. 須山地区公共ライドシェア実証運行を終えて

問 当市は現在、自家用車依存が高いが、中長期的に見ると高齢化などにより移動需要の変化が見込まれる。他地域への展開を踏まえ、新たな移動手段の検討をする予定はあるか。

答 既存の公共交通と共存を図りつつ、高齢者や免許返納者などに対し公共ライドシェアなどの新たな移動手段を検討する。

問 公共交通があっても生活で十分活用できない現状を、市はどのように認識しているか。

答 地域により移動手段の負担状況が異なることを認識しており、地域特性に応じた支援策を実施する必要がある。

問 千福が丘から市街地までタクシー往復で約6,000円かかる中、現行のバス・タクシー利用助成事業では年間2,000円にとどまっている。これで外出機会の拡大になるのか、また地域差がある中で一律の制度に乖離はないのか、本制度が高齢者の生活圏拡大や社会参加の促進になると評価しているか。

答 外出機会の創出に一定程度寄与していると考えますが定量的な評価は難しい。「真に困っている方に対する補助制度」として政策効果が劣る側面もあるので、補助のあり方を他市町の制度も含めて引き続き研究する。

2. 交通空白地域における現行補助制度の見直し

を注視し、当市での実施の必要性や可能性など、関係機関を交えて検討していく。



おかもと かずえ
岡本 和枝

1. 高齢者の終活支援事業の導入を

問 人生の最期を安心して迎えるための包括的な支援「終活情報の登録・伝達」「エンディングプラン・サポート」「生前寄附・遺贈寄附の支援」などの導入を。

答 直ちに実施に移すことは、体制的に大きな課題があり、現時点での導入は困難。国や他自治体の本事業の推移

2. 区長委嘱制度の見直しと区長負担軽減策は

問 区長委嘱制度は今後どのようにしていくか。

答 区長の業務には、自治会の代表としての役割と、市から行政事務を依頼される二つの側面があり、業務が区長に集中していることから負担軽減を求められている。一方で、行政サービスの提供や行政運営には、区の協力が欠かせない。区長委嘱制度は長年続いてきた仕組みであり、役員会でも様々な意見があった。区長の負担軽減に向けて、制度の在り方を含めた検討が必要と考える。



かつまた ゆたか
勝又 豊

1. 挑戦できる共創型実証フィールド創出事業

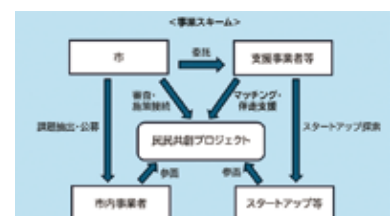
問 地域で活躍する人材を育てる共創プラットフォームは、「若い人たちが楽しいことをしている、若者が挑戦しやすい地域」として発信し広く認知されることで発展するのは。

答 共創の場の発展には認知されることが必要。実際に地域の中で挑戦が生まれ、成果が見える形で示されることが重要であり、小さくても実践的な成果事例を積み重ねたい。

2. 技術職員の確保で採用制度の改善

問 令和8年度から実施される専門試験の廃止や年齢制限の緩和といった制度改革によって期待する改善効果は。

答 専門試験による心理的なハードルを取り除き、多くの方に受験してもらい、受験者数の増加に繋げる。受験しやすい試験制度の整備と、質の高い人材確保の両立を進める。



共創型実証フィールド創出事業のスキーム図

10人が一般質問で市政を問う



あさだ もとゆき
浅田 基行

1. 村田市長2期目の市政運営

問 道の駅とスマートインター、企業誘致の状況と4年間の計画、財源はどうするのか。

答 道の駅の事業は、基本計画の策定を行っている段階であり、今後4年間で官民連携導入の可能性調査や用地

取得の準備、関係者との協議を重ねていく。事業費は概算で35億円程度を見込み、国の補助金の獲得に努めながら令和15年度の開駅を目指す。

スマートインター事業では、今後4年間で費用対効果や必要性の精査、市の負担の明確化を進めるとともに周辺道路やインター整備の方法などの検討及び関係機関への相談を実施していく。

企業誘致は、トップセールスや、静岡県東京事務所と連携した企業訪問を行い、立地ニーズの把握に努めるとともに、下和田地区、須山地区での工業団地造成を進めていく。造成工事は令和11年度以降の着手を目指す。



こばやし ひろふみ
小林 浩文

1. 山林の適正管理と林道整備等の方針

問 資産的価値を創出できる山林活用事業の検討は。

答 山林を「地域の価値を創出する資産」として活用する第一歩として、森林整備により吸収された二酸化炭素量を認証し、企業などへ販売するJ-クレジット制度の取り組みを、次年度から本格的に進めていく。さらに、森林資源を活かした自然体験や環境学習の受け入れ、林業事業者や民間

企業との協働による森林整備の仕組みづくりなど、多様な可能性の研究を進めていく。

2. 企業誘致と通勤者の安全、利便性の確保

問 岩波駅周辺の危険と隣り合わせの通勤の問題解決には、旧駅舎の2階から陸橋で西側に渡ることが最適と思うが。

答 立体横断施設の整備は、「実交通量が基準に遠く及ばないこと」や「巨額投資に見合う効果が得られないこと」から、公共投資として適当でないと結論付けられている。安全面への配慮として、駅前の横断歩道を歩行者の利用実態に合わせて北側へ移設するほか、送迎専用のロータリー整備を行う。



こばやし しゅん
小林 俊

1. 下水処理の低コスト化と機能維持

問 流域下水は当市では高コストであり、合併処理浄化槽を普及すべきだ。単独処理槽を合併処理槽に転換する具体策、普及促進策は。さらに所有者に適切な維持管理を確実に行わせる仕組みは。

答 単独処理浄化槽と合併処理浄化槽の浄化能力の違いなどを広報し、転換への啓発を進めていく。令和8年度

からは単独処理浄化槽の撤去費や宅内配管工事も対象に補助金の拡充を図っていく。また、浄化槽法に基づき、検査・保守点検・清掃を実施する義務があることを周知し、適正な維持管理の周知を図っている。

2. J-クレジットの適用方法の多様化

問 深良財産区の山林を活用してJ-クレジットの収入を得ようとするが、現行計画外の区域でも条件が整えばJ-クレジットの対象にできるのか、また得られた収益の一部を財産区に還元する考えがあるのか。

答 新たな地区を追加するときには財産区、市、当該山林委員会と協議する。現時点では予定していない。



なかむら じゅんや
中村 純也

1. せせらぎ児童公園周辺の価値を計画で示そう

問 せせらぎ児童公園周辺は多世代交流拠点として高いポテンシャルを持っており、国土交通省出身の副市長によるPark-PFI手法導入など、今後の発展にも期待している。現在は市街化調整区域であるが民間事業者の注目を集めるためにも、都市計画マスタープランに当該地域の位置付けを明確

にするべきではないか。

答 新たな生活拠点として高いポテンシャルを秘めており、公園単体ではなく周辺エリアを含めた土地利用の可能性を示すことが重要である。次期裾野市総合計画策定までの期間を鑑みながら地区計画の動向及び地域の機運の高まりを踏まえ都市計画マスタープラン改訂などにも柔軟に対応していく。また、本格整備に先立ち公園や周辺環境の充実による魅力向上に努め、関係者との対話を重ね、サウンディング資料のブラッシュアップを行い、民間活力の導入などの取り組みも併せて進めていく。

令和7年度意見交換会の実績

市議会では、議会基本条例に基づき、市民の声を聴き、より良い議会を目指してさまざまな形で対話の場を設けています。令和7年度は、市内3か所での「市民と議員の意見交換会」、常任委員会などによる「分野別意見交換会」、地域での様々なイベントで自由に対話をする「シギトーク」で、市民の皆さまの声を伺いました。

意見交換会報告書は
こちらから▼

市民と議員との意見交換会

あなたの声を
市の政策へ！



テーマ：「投票率」と「議員のなり手」 市民が政治に参加したくなる仕組みづくり

11月16日（日）10:00～11:45

生涯学習センター

参加市民 13人

出席議員 20人



11月20日（木）19:00～20:45

裾野市役所

参加市民 16人

出席議員 11人

11月21日（金）19:00～20:45

須山研修センター

参加市民 12人

出席議員 20人



皆さまの意見は市役所5階フロアに掲出いたしました。
今後の政策立案の参考にさせていただきます。

シギトーク

お祭りやイベントなどにブース出展し、市民と自由に対話する
裾野市議会オリジナルの意見交換手法です。



7月26日(土)	須山地区夏まつり	対応件数	10件
11月2日(日)	東地区コミュニティまつり	対応件数	15件
11月2日(日)	西地区コミュニティまつり	対応件数	24件
11月9日(日)	深良地区コミュニティまつり	対応件数	17件
11月22日(土)	富士山すその花火まつり	対応件数	11件
11月23日(日)	富岡地区コミュニティまつり	対応件数	4件

いただいたご意見の一例

項目	具体意見	詳細・背景	出展日
道路・安全	危険箇所の修繕・街灯	側溝にフタがない場所があり転落事故があった、夜道が暗い、教習所付近の歩道の草刈り要望、グレーチングの段差がづらい。	11月 2日 11月 22日
交通マナー	スクールゾーン・通学路	小学校送迎の渋滞がひどい、大型車のマナーが悪い、信号無視が増えた(茶畑交番付近)。	11月 2日
移動手段	公共交通・タクシー不足	免許返納後の生活が不安。タクシーが予約できない。「AI デマンドタクシー」や自動運転(ウーブン・シティ連携)への期待。	11月 2日 11月 23日
ゴミ処理	指定袋の規格・価格	ゴミ袋の容量を大きくしてほしい(現在は結びにくい)、有料化への反対意見。	11月 2日 11月 16日

それぞれ、各議員の一般質問や審査時の視点の参考になったもの多く、高齢者の訪問理容の改善など、実際に委員会で調査研究につながったものもあります。



市議会では、引き続き「開かれた議会」を目指して、市民との対話の機会を積極的に設けていきます。シギトークのぼり旗をお見かけの際にはお気軽にお立ち寄りください。

静岡県に対して意見書を提出

県立裾野高校再編に抗議し、地元住民への説明を求める意見書

提出先 静岡県知事、静岡県教育長

1. グランドデザインに関し裾野市で説明会を早急に開催すること。
2. 高校再編が裾野市に及ぼす影響を、分かりやすい資料で市民に示すこと。
3. 在校生及びその保護者をはじめとする関係者との意見交換、協議の場を設置すること。



意見書はこちらから



国に対して意見書を提出

東富士演習場の運用における住民負担の軽減に関する意見書

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、外務大臣、防衛大臣、国土交通大臣、総務大臣



意見書はこちらから

傍聴ありがとうございました

2月定例会は74の方が傍聴されました。いただいた意見の一部を紹介します。

一つの事業が各部署に跨って説明がされていますが、市民側から「役所の仕事が見えない」と言われている要因になっていないか予算決算委員会を傍聴して感じました。
60代 男性

久しぶりの議会傍聴でしたが答弁者の対応が以前に比べ前向きな発言が増えたように思いました。
70代 男性

大学の講義では体感できない実際に身の回りで起こっている問題の提起と担当の部のボールの投げ合いにより双方の意見を聞ける貴重な機会でした。
10代 男性

令和8年6月定例会(予定)

※予定は変更する可能性があります。

6月9日	火	本会議	10:00～	6月16日	火	予算決算委員会 (厚生文教分科会) 厚生文教委員会	9:00～
6月11日	木	本会議	10:00～	6月17日	水	本会議(一般質問)	10:00～
		予算決算委員会	本会議終了後	6月18日	木	本会議(一般質問)	10:00～
6月12日	金	予算決算委員会 (総務分科会) 総務委員会	9:00～	6月19日	金	本会議(一般質問)	10:00～
6月15日	月	予算決算委員会 (産業建設水道分科会) 産業建設水道委員会	9:00～	6月22日	月	本会議(一般質問)	10:00～
				6月25日	木	本会議	10:00～
						予算決算委員会	本会議終了後

議会だよりすそのでは、誰もが「見やすく、読みやすい」ように細かい部分に配慮したUD（ユニバーサルデザイン）フォントを使用しています。

発行●裾野市議会 静岡県裾野市佐野 1059
Eメール●gikai@city.susono.shizuoka.jp

編集●広報広聴委員会 ☎055-995-1839（直通）
印刷●ナポー株式会社



会議録検索システム